

| | | | |
|-----|----------------------|-------|-------|
| 科目名 | 哲学 B Philosophy B | 科目コード | 10456 |
|-----|----------------------|-------|-------|

| | |
|----------|-------------------------------|
| 学科名・学年 | 全学科・5年（プログラム2年） |
| 担当教員 | 鈴木 覚（一般教育科） |
| 区分・単位数 | 履修単位科目・選択・1単位 |
| 開講時期・時間数 | 後期，30時間【内訳：講義28，演習0，実験0，その他2】 |
| 教科書 | 配布プリント |
| 補助教材 | 配布プリント |
| 参考書 | 授業中に随時指示する。 |

【A. 科目の概要と関連性】

哲学の基礎的事項や基本文献を取り上げる。哲学的教養を増やし、「哲学すること」の意義を理解する。

○関連する科目：哲学A（前期履修），科学哲学（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|--------------------------|-------|---------------|
| ①哲学の諸概念について説明できる | 50% | (a1) |
| ②哲学の諸概念を用いた文章を書くことができる | 40% | (a1) |
| ③哲学的な文章の内容理解に関する質問に答えられる | 10% | (a1) |

【C. 履修上の注意】

基本的に毎回、確認小テストを行います。「教養を増やしたい」と真面目に考える人のみ履修してください。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（70%）【内訳：中間34，期末36】
- その他の試験（30%）
- レポート（0%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|---------------------------|----------|
| 1 | 行為と価値（1）／哲学的資料に触れる（1） | |
| 2 | 行為と価値（2）／哲学的資料に触れる（2） | |
| 3 | 行為と価値（3）／哲学的資料に触れる（3） | |
| 4 | 行為と価値（4）／哲学的資料に触れる（4） | |
| 5 | 行為と価値（5）／哲学的資料に触れる（5） | |
| 6 | 行為と価値（6）／哲学的資料に触れる（6） | |
| 7 | 行為と価値（7）／哲学的資料に触れる（7） | |
| 8 | 言語と論理（1）／哲学的資料に触れる（8） | |
| 9 | 言語と論理（2）／哲学的資料に触れる（9） | |
| 10 | 言語と論理（3）／哲学的資料に触れる（10） | |
| 11 | 言語と論理（4）／哲学的資料に触れる（11） | |
| 12 | 言語と論理（5）／哲学的資料に触れる（12） | |
| 13 | 日本の哲学・思想（1）／哲学的資料に触れる（13） | |
| 14 | 日本の哲学・思想（2）／哲学的資料に触れる（14） | |
| — | 学年末試験 | 試験時間：80分 |
| 15 | 試験解説と発展授業 | |